

# 第2 事業計画（計画期間の主な取組）

## 1 安全の確保

地下鉄・路面電車をお客さまに安心してご利用いただくため、安全の確保を最優先に考え、安全管理体制の継続的な運用と改善、事故・災害発生時の対応を含めた安全性向上のための取組の実施、施設などの安全レベルの向上に取り組みます。これまで以上に安全で安定した輸送サービスを提供することで、より多くのお客さまにご利用いただける地下鉄・路面電車を目指します。

### （1）安全管理体制の継続的な運用と改善を図ります

#### 運輸関係職員の人材育成

新規 共通

安全管理体制を継続して維持するため、運輸関係職員の養成は知識・技能を効果的に修得できる環境を確保のうえ実施するとともに、次世代の安全管理を担う法定の管理者<sup>\*</sup>についても候補者の育成を図ります。

#### 危機管理体制の強化

新規 共通

2020年東京オリンピック・パラリンピックや、札幌市が招致を目指している冬季オリンピック・パラリンピックなど大規模イベント開催にあたって懸念されるテロ等事故災害に対して、国・自治体や他の鉄道事業者等と情報を共有してリスクマネジメント体制を随時見直していきます。

また、平成30年北海道胆振東部地震の経験を踏まえ、災害時の情報発信やお客さまの安全確保に向けた施設整備について検討していきます。

#### 事故の未然防止活動の推進

共通

札幌市交通局職員、駅業務を委託している一般財団法人札幌市交通事業振興公社、その他協力会社からのヒヤリ・ハット情報<sup>\*</sup>の収集等を通じ、事故の未然防止を図ります。

#### 安全監査の充実

共通

安全監査の内容の充実や監査の実効性の向上を図り、安全管理体制が常に機能するよう努めていきます。

#### 安全管理活動の推進

共通

安全に関する様々な活動を「お客さまの安心感・快適感向上」と「職員の働きがいの確立」の両面から評価・改善し、活動そのものの質を高めていくことを通じて、ヒューマンエラーの低減や安全性向上を推進していきます。

## (2) 安全性向上のための取組を推進します

### 安全にご利用いただくための啓発活動の推進

共通

お客さまに安全かつ快適に地下鉄をご利用いただくため、利用状況を踏まえ、マナーキャンペーンや出前講座等のマナー啓発活動の取組を継続します。

### 安全活動に関するお客さまへの情報発信

共通

輸送の安全確保に係る取組や対策について、リーフレットやホームページ、出前講座等による情報発信を行います。

### 安全運行確保のための訓練の実施

共通

事故や災害発生時に、お客さまを迅速かつ安全に避難させるとともに、列車の安全な運行を確保するため、関係機関と連携し、火災や浸水害を想定した各種訓練を実施します。

## (3) 施設の安全性を強化します

### 地震対策の推進

地下鉄

耐震診断の結果、耐震性能の不足が判明した南北線高架部のシェルター・車両工場等の施設について、緊急度に応じて順次耐震改修工事を実施します。

### 土木構造物(ずい道)の保全に向けた取組

新規

地下鉄

地下鉄ずい道内におけるコンクリートの強度及び劣化状況を引き続き把握し、必要に応じて計画的に改修を進めることで、施設の長寿命化を図ります。

### 老朽化した施設・設備の計画的な予防保全及び更新

地下鉄

駅舎やシェルター、換気塔、変電所等の施設を長期間にわたり安全に使用していくため、計画的な予防保全及び更新を実施します。

### 軌道施設(レールなど)の計画的な更新

路面電車

レール、ポイント、枕木などの計画的な更新を引き続き実施し、安全な運行を継続していきます。

## 事業計画(主な取組)と 札幌市の上位計画との関連性

「札幌市まちづくり戦略ビジョン(戦略編)」において、自家用車から公共交通への利用転換を促進するため、学校や地域などで、公共交通について学ぶ機会を設けることなどにより、「自動車の過度な利用を控え、公共交通を皆で支える」という市民の意識醸成を図ることとしています(P.72)。

札幌市交通局はこの考え方に沿って、市営交通の利用促進とともに、利用時のマナーに関する啓発活動を継続して実施していきます。

「札幌市まちづくり戦略ビジョン(戦略編)」において、ライフサイクルコストの縮減や更新費用の平準化を図り、持続可能な都市運営を実現するため、将来の人口動態などを見据えながら、都市基盤の効率的かつ計画的な維持・保全を進めていくこととしています(P.121)。

札幌市交通局においても、限られた財源の中で計画的に改修を進め、安全運行の確保に努めていきます。



## 2 快適なお客さまサービスの提供

お客さまに快適に地下鉄・路面電車をご利用いただくため、スムーズな輸送サービスの提供や快適な環境整備などを行うことで、幅広くより多くのお客さまにご利用いただける地下鉄・路面電車を目指します。

### (1) スムーズな輸送サービスを提供します

#### 運行ダイヤの見直し

共通

地下鉄の運行ダイヤについて、早朝深夜時間帯の乗り継ぎや適正な運行間隔などを検討し、お客さまの利便性の向上を図ります。

路面電車においても、将来の需要増に対応するため、適正な運行ダイヤの見直し及び適切な車両数を随時検討していきます。

### (2) 快適な環境を整備します

#### トイレの洋式化等

地下鉄

お客さまの利便性向上のため、一般旅客用トイレの洋式化や温水洗浄便座の設置を行います。また、手洗い器の横に水石鹸を設置するなどの改良を行います。

#### 制振軌道化<sup>※</sup>

路面電車

走行時の振動や騒音を抑え、乗り心地を向上させるため、振動を抑える線路を引き続き整備します。

#### 走行路面の改修に向けた取組

新規

地下鉄

長年の車両の走行によって老朽化が進む南北線や東西線(一部)の走行路面について、耐久性に優れた鉄板走行路面への改修を進め、乗り心地の向上と走行路面の長寿命化を図ります。

#### 地下鉄駅のリフレッシュ<sup>※</sup>

新規

地下鉄

各駅は開業から数十年経過し、壁面等の経年劣化が進行しています。経過年数や駅の利用状況に応じて、壁面や床、天井等の改修を行い、清潔感のある明るい駅へ改装します。

### (3) お客さまがよりご利用しやすくなる取組を進めます

#### ニーズに合った企画乗車券などの検討

共通

お客さまから寄せられているご要望などをもとに、よりニーズに合った企画乗車券などについて検討していきます。

第1  
第2  
第3  
参考

**子育て支援に向けた取組**

共通

駅の個性化プロジェクトの一環として、2011年5月から設置している授乳ボックス「ミルポ」について、子育て支援の観点から、設置を継続します。また、小さなお子さまとの外出を安全に楽しんでいただくとともに、周りのお客さまにも安全・快適にご利用いただくために、ベビーカー使用時の注意点や助け合いマナーなどについての啓発活動を行っていきます。

**精神障がい者に対する運賃割引制度の導入**

新規 共通

精神障がい者の経済的負担の軽減を図り社会参加促進につなげるため、市営交通の乗車料金を半額とする運賃割引制度を、身体障がい者や知的障がい者と同様に精神障がい者に対しても導入します。

**駅施設スペースなどを活用したサービスアップ**

新規 地下鉄

お客さまの利便性向上に向けて、オープンイノベーション\*の手法等により、民間企業と連携した施策展開を検討します。

**同伴幼児の無料人数拡大**

新規 共通

子育て世帯が市営交通を利用する機会を増やすとともに、子育てしやすい環境づくりに寄与するため、保護者1人につき無料で乗車できる幼児の人数を増やす見直しを行い、2020年度中に実施します。

**地下鉄事業**



走行路面

**路面電車事業**



制振軌道化(ダブルレール化)

**札幌市交通局イメージCM ～市電篇～**



### 3 まちづくりへの貢献

まちづくりや環境、福祉などの時代に合った新たな社会的要請に応えるための取組を実施し、公共交通事業者として求められる社会的役割を果たすとともに、「札幌市まちづくり戦略ビジョン」に掲げる施策の方向性に沿った取組を推進し、まちの健全な発展を支えます。

また、近年増加している訪日外国人旅行者への対応(インバウンド対策)や高齢化社会への対応、今後想定される北海道新幹線の札幌駅延伸、冬季オリンピック・パラリンピックの招致へ向けて、国の施策と連携しながら、都市の発展に貢献し、札幌市民や札幌市を訪れるすべての方が利用しやすい公共交通を実現します。

#### (1) 公共交通の利用促進につながる取組を実施します

##### 「私たちの市営交通」、「愛される地下鉄・路面電車」への取組 共通

市民の「私たちの地下鉄・路面電車」という意識を高め、乗車行動につなげていくため、「ホリデーリング」の継続実施、駅構内や車内への子どもの絵画・作品の展示等を通して、市営交通事業への愛着の醸成を図ります。

##### 交通資料館のリニューアル 新規 共通

地下鉄高架部の橋脚の補強工事に伴い、交通事業に係る資料の保存・展示等を行う交通資料館を一時休館していますが、交通事業の歴史や取組などをよりわかりやすく伝えるため、展示内容等をリニューアルした上での再オープンを目指します。

##### 公共交通機関を利用した「健康づくり」の推進 共通

札幌市保健福祉局とのタイアップ事業である公共交通機関を利用した「健康づくり」事業に引き続き取り組み、市民の健康づくりに貢献するとともに、市営交通への親しみと利用促進につなげます。

##### 車両基地の改良 新規 路面電車

電車事業所車庫、工場棟及び事務所棟について、機能向上を図るとともに、施設の強靱化及び有効利用を図り、安全運行を確保します。

##### 電力設備の増強 新規 路面電車

新山鼻変電所を含む電力設備を更新するとともに、新たな変電所を建設することにより、安定した電力を供給します。

##### バス発着施設の老朽化対応等の検討 地下鉄

地下鉄駅に併設しているバス発着施設の老朽化が進んでいるため、関係部局と連携して計画的な老朽化対応等の検討を進めていきます。

## (2) 地下鉄駅周辺などの機能向上を促進します

### 地域との連携

共通

地域でのイベントや沿線商業者団体等と引き続き連携し、駅の個性化などの取組を通して、沿線のにぎわい創出に寄与するとともに、駅の魅力を高める取組を推進します。

### スムーズなアクセスの実現

新規

共通

北海道新幹線の札幌駅延伸や、冬季オリンピック・パラリンピックの招致を見据え、バリアフリー基準に対応した新幹線との乗り換え接続や混雑対策、各競技場へのアクセスルートとしての駅施設の整備などについて検討します。

### 沿線地域の再開発やまちづくりなどとの連携・協力

地下鉄

「(仮称)新MICE施設整備基本計画」※、「新さっぽろ周辺地区まちづくり計画」※、「真駒内駅前地区まちづくり計画」※などによる札幌市交通局施設への接続に関して、公営交通事業者としての採算性などを考慮しつつ、沿線地域の活性化の効果を高められるよう関係部局と連携しながら進め、利用者全体の利便性向上を図ります。

### 地元プロスポーツチームなどとの連携

共通

駅施設の装飾やラッピング電車など、まちに活力を生む地元プロスポーツチーム等の団体を応援する取組を継続します。

## (3) 環境対策に取り組みます

### 節電対策の継続

共通

節電対策について、札幌市の省エネルギー・節電方針やこれまでの札幌市交通局の取組、お客さまからのご意見等を踏まえ、安全の確保を第一に、お客さまのご理解とご協力をいただきながら、今後も継続します。

### 照明設備のLED化の推進

地下鉄

駅の天井照明や出入口標識、電照広告枠のLED化を行い、省電力化を図るとともに、明るい空間づくりを進めます。

## (4) すべての人にやさしい施設整備を行います

### エレベーター等の増設

地下鉄

まちづくりの観点や各駅のお客さまの利用動向・要望などを踏まえ、関係部局と連携して順次増設していきます。